

「人権旬間」

11月 日(水)～11月30日(木)



今年も人権旬間の取組を約1か月にわたり実施しました。人権集会では、「世界が一つの家族のように」を全校で歌いました。校長先生から、人を思いやり、心を通わせながら、ともに支え合って生きていくことの大切さについてお話を聞きました。職員による絵本の読み聞かせ「ぼくにもその愛をください」は、「本当の強さって何か」について考えるきっかけになるお話で、全校児童が聞きひたる姿が印象的でした。

児童会では、友達の優しさに触れてうれしかったことをたくさん集める「ありがとうメッセージ」に取り組みました。それぞれの教室の入り口には、友達にやさしくされたエピソードがたくさん貼られています。

11月24日には人権学習の授業参観を実施し、多くの保護者の方々にお越しいただきました。それぞれの学年で、お互いの思いを尊重したり、友達や自分のよいところを発見したりする学習、また、コミュニケーションスキルを高める学習を参観していただきました。人権旬間の終わり11月30日には、グループ学年に分かれて「人権まとめ集会」を開き、この期間に学んだことや考えたことを発表し、交流しました。

また、人権旬間と並行して、「いじめアンケート」を実施し、児童全員と担任が面談を行いました。学校生活や友達のこと、困っていることや悩んでいること、いやな思いをしていること、がんばっていることなど、担任とじっくり話す機会をとっています。一人一人の人権が尊重されることは、期間を区切って考える問題ではありませんが、すべての児童がよりよく楽しい学校生活が送れるように、取組を進めています。



PTA志楽綱引き大会！

1月18日(土)



チビッコソフトボール大会が平成28年度をもって終了し、それに代わる行事として、「PTA志楽綱引き大会」を実施しました。はじめは参加申し込みが少なく、開催できるか心配していましたが、練習を始めると「僕も出たい」「私もやってみたい」と多くの児童が集まり、85名の参加がありました。大人も29名の選手が集まり、土曜日の半日を楽しく過ごすことができました。

低学年2チーム、中学年3チーム、高学年3チーム、大人3チームを編成することができ、それぞれの部門で優勝目指して熱戦を繰り広げました。大きな声を出して懸命に綱を引く低学年や、無言で力を振り絞る高学年などそれぞれが自分の力を精一杯出して競技することができました。大人の試合は非常に見ごたえがありました。真剣に綱を引き合い、ヘトヘトになって倒れこむ姿からは、全力を出すからこそ得られる充実感が感じられました。

児童には、順位に応じてお菓子で作ったトロフィーが授与されました。これは、PTA本部役員の皆さんが、いろいろなお菓子を組み合わせで作った手作りのトロフィーで、児童は大喜びでした。閉会式の後にはトロフィーをバラバラにして、みんなでお菓子を分け合っていました。



初めて実施した「綱引き大会」でしたが、子どもも大人も大いに楽しむことができたのではないのでしょうか。ぜひ来年もたくさんの参加者で盛り上がる行事になればと思います。

今大会で、準備から審判、運営、トロフィー作成とご尽力いただきました、PTA保体部と本部役員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



コミュニティスクール推進委員会を開催 よりよい学校にするために...

11月24日(金)には、コミュニティスクール推進委員の方々にお集まりいただき、学校の様子をご覧いただくとともに、意見交流をしていただきました。当日は授業参観日・作品展でもあり、人権学習の様子を参観し、児童の作品も見いただきました。協議では、「児童がとても落ち着いて学習していて感心した。」「図工の作品がとても上手。自分の得意分野を活かしてがんばってほしい。」「など児童のよさをしっかり見ていただきました。また、児童がみんな元気よくあいさつができるようになってほしい等の願いも出されました。農園クラブが活動を終えられることに触れ、野菜を育てる難しさや畑の段取りの大切さなども教えていただきました。さらに、学校と地域、保護者が密接に関連し合ってこそ教育。学校を含めて地域社会がつながる工夫を考えたいなどのお話をいただきました。

